

# よらねわかね 小合

## 地域の人口動態

	平成28年3月末現在
世帯数	1,229戸
男	1,873名
女	1,985名
人口	3,858名

2016. 5. 10 第47号 小合地域コミュニティ協議会

発行責任者：四柳健二 編集：総務部



新津駅東西自由通路に飾られた小合の花の文化史

## 今号の主な内容

新津駅東西自由通路に  
小合の花の文化史を展示 **2面**

「小合地区高齢者学級」  
を開催 **2面**

「小合地区いきいきサロン」  
マップ作成 **3面**

「健康・自立セミナー」開催  
(新潟薬科大学生による) **4面**

## 連載：小合の歴史研究

### 第五回

「ボタン栽培の技術革新」により  
新潟を日本最大のボタン産地に  
育てた人たち

今回は、小合の園芸産業を育ててきた偉大な先人の方たちの技術革新と業績の一部を振り返ってみます。

私たちの住む小合の歴史を調べなおして偉大な業績や、ふるさとの誇り、宝物を再発見してみましょ。

長尾 次太郎

(明治元年～昭和5年)

江川 啓作

(明治4年～昭和13年)

四柳 徳次郎

(明治7年～昭和30年)



〔一〕明治末期に、小合の長尾次太郎は、ボタン、シヤクヤクの新しい品種を数多くつくりあげました。長尾の新品種の開発は、新潟県をボタン産地に育て上げるのに大きく貢献しています。長尾のほか、荻川の田中新左衛門もボタンの品種改良に一生をささげて取り組んでいました。

ボタンの増殖は江戸時代より、ボタンの台木にボタンの穂を接ぐ方法（共白）が行われていました。しかし、ボタンは木本植物であり、この方法では生産量の多かった農家でも一年に二百本程度の接ぎ木をするのが精いっぱいでした。

もつと大量に生産することができな  
いか、研究を重ねていた江川啓作と四柳徳次郎が明治三十年（一八九七）ころボタンをシヤクヤクの台木に接ぐという画期的な技術をあみだし、日本で初めて成功しました。草本植物であるシヤクヤクはボタンに比べて数十倍早く台木をつくることができ、この技術が小合地域をボタンの大生産地に発展させる原動力になりました。

〔二〕大正十年（一九二一）小合園芸組合が設立されて、ボタンの販路拡張が計画され、その翌年、長尾次太郎は横浜の植木平井を通じて、組合からボタンの苗を大量にアメリカへ輸出しました。これが、新潟ボタンの初めての外国への出荷となりました。昭和二年（一九二七）には新潟県花卉球根協会が創設されて、ボタンの増殖を奨励し、小合と小須戸の二か所に原種圃場が設置されました。

又、翌昭和三年（一九二八）に東京三越本店で新潟ボタンの宣伝即売会を開催すると好評で五百鉢のボタンが、期間中に完売してしまいました。

長尾は、昭和五年（一九三〇）に亡くなりましたが、長尾のつくったボタンは、たくさんある越後ボタンの品種の約半数に達していました。

### 【参考文献】

「郷土再発見―ふるさとの誇り―百話」編集事務局  
再編集責任者、小合ミ協総務部 Y・I

小合史の調査に興味のある方募集中！  
小合の歴史（色々な面）調査にご協力を  
お願いします。

### 新津駅東西自由通路に 秋葉区(小合)の花の 文化史が展示されました。

平成二十八年一月〜四月



秋葉区と新潟県立植物園の協力で、新津駅の東西をつなぐ自由通路に今年の1月から「秋葉区の園芸文化史を紹介するパネル」の展示と「アザレア」「クリスマスローズ」「ボケ」などの鉢植えが展示されました。

秋葉区(小合・小須戸など)は古くから全国有数の花き生産地であり、アザレアやボケ、シヤクナゲなどの花木類は全国一の生産量を誇ります。

このことを通勤客や新津を訪れた方に、アピールしました。

又、飾られた花を見る人の心を癒しました。



### 小合コミ協の行事から

#### 小合地区高齢者福祉学級

平成28年2月13日(土)

コミュニティセンター大ホール

大鹿(ときわ会)三三名をはじめ小合地区の老人クラブから二〇八名もの大勢の方が参加。来賓関係者を含め総勢一四五名の方が会場を埋め尽くしました。

最初に今、最も注目されている「マイナンバー制度」についてプロジェクターを使用して、おおよそ1時間、講師の方の熱演があり、マイナンバーカードの発行などの話を熱心に聞きました。

次に秋葉区健康福祉課の小松谷保健師さんより「春に向けての健康管理」と言う演題で、参加者にとって大変参考になる内容の講演をしていただきました。その後、ロコモ体操のサポーター九名による新潟弁のロコモ体操(CDを使用)を全員で行い、会場も笑に包まれ皆さん楽しく体操に参加されていました。

又、休憩を挟んでお楽しみ芸能「渋谷一座」(渋谷知栄子代表)以下六名による、三味線演奏、民謡を短い時間でしたが、全員で鑑賞しました。

渋谷一座は秋葉区内にあり、所

属員七名中八十歳を過ぎた方が五人、若手二人で常々目標を持って鍛錬を怠らず稽古をして来ました。年齢を感じさせない若々しい演奏と演劇で会場をわかせるしました。

長時間に渡りましたが、参加者全員の方が納得の福祉学級になったと思えました。

【総務部】(K1記)



「渋谷一座」の皆さんによる芸能→

### 小合コミ協地域懇談会(第10回)

平成28年2月7日(日) コミュニティセンター大ホール

今年で10回目のコミ協地域懇談会が開催されました。

今回はメインテーマを「小合地域の安心安全のネットワークの向上」として地域の方7名から話題提供していただき意見交換を行いました。

当日は秋葉区、副区長兼総務課長の太田様を初め、地元市議会議員、社会福祉協議会長、秋葉区地域課及び産業振興課の代表を、来賓としてお迎えし、また地域の各組織団体代表の大勢の方に参加していただきました。

#### 【話題提供者】7人

1、山岸 巖様：現、大鹿自治会長  
江南区亀田五月町自治会を立ち上げた経験を発表

2、川鍋誠二様：神奈川県から出戸の園芸農家に移り住んで3年目「県外から移り住んだ視た新潟の感想」を発表。新潟の冬は長く厳しく常に空はどんよりとしているが、春を迎えた日の出の輝きは素晴らしく、関東に住んでいたら経験出来ない。など

3、古田 治様：小合地域民生委員、児童委員代表  
民生・児童委員活動の現状、課題

4、石坂優彦様：小合小学校教頭  
「きらめき運動」の説明：小合の保育園、幼稚園、小学校、中学校で相互連携して子供を育てる。

5、江口千秋様：コミ協防災環境部  
昨年、地域全体で取り組んだ小合地区自主防災訓練の報告。

6、服部尊義様：小合駐在所長  
昨年、小合地域の犯罪発生状況について報告。

7、阿部 繁様：栗宮自治会長  
「自治会・コミ協活動」とその周辺からについて報告。

#### 【会の中で意見・助言など】

小合に移り住んだ園芸農家の川鍋さん発表に対しては秋葉区産業振興課長より激励の言葉をいただきました。又、小合の園芸産業をこれからも応援して行くことを約束していただきました。小合小学校、石坂教頭発表の保幼・小・中学校の連携教育については、地域全体で援助していく必要があるとのご意見でした。その他、沢山のご意見がありました。

(今回の懇談会の議事録は、コミ協総務部が保管しています。)



地域懇談会での 話題発表

地域の茶の間

「ふれあい・いきいきサロン」

参加者募集

小合地区のいきいきサロンマップを作成し配布しました。小合地区社協(平成27年度)

新潟市社会福祉協議会が助成して行う活動に「地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン」があります。27年度の小合地区社協(コミセ内)の活動として、いきいきサロンの会合で話し合い、小合にある12のサロンのマップを作成しました。マップには各サロン活動の写真や、開催日、場所の一覧表をのせました。そして、参加者の輪を広げるために、手渡しでマップを配布しました。

自治会で、サロン活動を行う場合「地域交流活動助成事業」として申請すれば、新潟市(社会福祉協議会)からの助成金を受けることができます。詳しくはコミセン事務局まで問い合わせ下さい。

◆「地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン」とは何のことですか?… 地域の誰もが気軽に寄り合い、孤独の解消と地域づくりをする場所のこと。  
◆だれが参加できるのですか? (対象者) 子どもからお年寄りまで、障がいの有無を問わず、誰でも気軽に参加できます。  
◆小合地域で既に12ヶ所のサロンが毎月、活動しています。



出来上がった 小合サロンマップ

専門部の活動から

食の講座「おかし作りに挑戦!」

(おひな様ケーキ)

平成28年2月28日(日) 会場: コミュニティセンター調理室



おかし作りのようす

今回、小学生の女の子2名も参加しました。代理ひなに目や口を描く時は見せ合ったりして、全員が家族的な雰囲気です。中野先生、参加した皆さんお疲れ様でした。



春のおとずれが待ちどおしい2月の末、いつも好評の食の講座は、桃のお節句にふさわしい、お雛様のおかし(おひな様ケーキ)作りに挑戦し、地元でおかし屋さん経験のある中野万里夏さんを講師に迎えて、参加者15で開催しました。



出来上がった作品

優秀運転者として表彰されました。

長年、自動車の安全運転に努められた小合地区の2名の方がこの度「優秀運転者」として新潟県交通安全協会及び新潟県警察本部より表彰される事が決まりました。おめでとうございます。

【五十年無事故無違反表彰者】  
広瀬岩男様(梅ノ木)  
本間貞雄様(子成場)

尚、表彰式は五月二十六日に行われます



### 新潟薬科大学生による 健康・自立セミナー開催

平成28年2月27日(日)  
コミュニティセンター大ホール

秋葉区にキャンパスを持つ新潟薬科大学の薬学部と秋葉区の協力により「健康・自立セミナー」が、地域住民の身近な場所へ出前のかたちで開催されています。

小合でも、第1回目として、コミュニティセンターにおいて薬科大学生男女8名が来場し、自分達が学んでいる知識を真剣に教えてくれました。

#### ◎セミナーのテーマ

第1回目のテーマは「糖尿病」と「脂質異常症」についてで、約60名の地域の参加者が熱心に聞き入りました。第2回目は4月23日に開催されました。テーマは「高血圧症」と「熱中症」です。

#### ◎セミナーの特徴とメリット

このセミナーに参加してみたい参加者(地域住民)に密着型のセミナーである事にびっくりしました。

講師の学生は、自分達が今学んでいる事を目の前で講義する(教える)事により、学びの復習



小合での健康・自立セミナーの様子

が出来ます。人に教える事は大変ですが、その事により知識の理解度を深めます。セミナーは双方向型で行われますので参加者は、目の前にいる学生に意見や質問も自由に来る、学生と地域住民とのふれあいもあります。

今後も継続して行われる予定ですので、是非まだ参加していない皆さんも参加してみてください。(参加は無料で、自由に参加できます。)

こんにちは!

### 新潟市地域 包括支援センター

「すず」です。

(担当地域 小合、金津、小須戸)  
新潟市より委託を受けている、「高齢者に関するなんでも相談窓口」です。  
お気軽にご相談下さい。



野崎 佐藤  
寺口 新井  
伊藤

高齢者の相談はこちら

### 新潟市地域 包括支援センター「すず」

小須戸120番地5

(小須戸出張所2階)

電話0250(6)1-1855

### ●長い間ありがとうございました。 退任職員のご挨拶

長年、当コミュニティセンターの管理職員として活躍していただきました阿部ゆみ子さんと滝沢孝栄さん(事務長)が、昨年末と三月末に退職されました。

お二人から、ご挨拶をいただきました。



#### ◆滝沢 孝栄様より

平成二十年の九月から、七年半の間、コミュニティ協議会関係者及び利用団体の方々として小合地区住民の皆様を支えられ楽しく勤務させていただきましたことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は無理のない範囲で、世話になった社会へのお返しのできる仕事をしていこうと思っています。小合地区の皆様、長い間お世話になり有難うございました。

滝沢 孝栄(小須戸地区在住)



#### ◆阿部 ゆみ子様より

在職中は公私にわたりいろいろとお世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。

コミセンでの貴重な経験を心の糧として今後の人生に生かしていく所存です。

今は、親の介護と趣味の登山にと忙しく過ごしております。

### 新任職員のご紹介

コミ協事務職員に就任して

加藤 直子(四ツ興野在住)

この4月より事務職員として採用になりました加藤直子です。勤務はまだ始まったばかりですが、役員の方々の始め、周りの皆様にご指導いただきながら日々楽しくお仕事をさせていただいております。コミ協の活動のお手伝いを通じて、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。生まれも育ちも小合、大相撲が大好きです。よろしくお願ひします!

#### ◇編集後記◇

熊本地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。長時間の地震が続き、さぞ御心痛の事と思います。(I)